

『メンデルスゾーン生誕200年記念』

ロマンティック・Jブラームス(4)

＜メンデルスゾーン to ブラームス No3＞

ブラームスのピアノ四重奏曲に見られるメンデルスゾーンのピアノトリオの影響
その長さゆえに演奏される機会の少ない名曲、ピアノ四重奏曲の第2番を取上げる

- プレトーク / メンデルスゾーンとブラームス
■ メンデルスゾーン / ピアノ三重奏曲 第2番 ハ短調 Op.66
■ J・ブラームス / ピアノ四重奏曲 第2番 イ長調 Op.26
Vn 田中晶子 (N響 JBS会員)
Va 坂口弦太郎 (N響 ゲスト)
Vc 林峰男 (JBS音楽監督)
Pf 野田清隆 (東京芸大講師 JBS会員)
監修/プレトーク 西原稔 (桐朋学園大学教授 JBS顧問) 林峰男 (音楽監督)

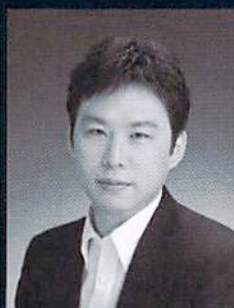


田中晶子



坂口弦太郎

© S.Takehara



野田清隆



林峰男



西原稔

2009年12月6日(日) 2pm 1:30pm 開場

会場 青山ドイツ文化会館OAGホール

チケット 全自由 一般¥4000 学生¥2500

後援 ドイツ連邦共和国大使館
ドイツ・ハンブルク国際ブラームス協会
アメリカブラームス協会 (ABS)
助成 財団法人 ロームミュージックファンデーション
チケット 東京文化会館 チケットサービス
お問合せ 日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611
HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



●田中晶子 (Vn) Tanaka Akiko JBS会員

広島生まれ。5歳よりバイオリンを始める。1996年、第65回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位入賞。1997年、桐朋学園大学卒業。2000年、平成12年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツに留学。2002年卒業、帰国。これまで、広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。ながのアスペン音楽祭、倉敷音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル等に出演。これまで多賀久三、辰巳明子、ザハール・ブロン各氏に師事。現在NHK交響楽団員。

●坂口弦太郎 Sakaguchi Gentarō ゲスト

1977年大阪府堺市生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め、17歳でヴィオラに転向。1999年東京藝術大学器楽科ヴィオラ専攻卒業。同大学院修士課程入学。1999年東京藝大同声会主催による卒業演奏会に出演。1999年第9回日本室内楽コンクール第3位入賞。(原田恭子pfとの二重奏)奨励賞受賞。2000年同大学院在学中にNHK交響楽団のオーディションに合格し入団。2000年第1回日本アンサンブルコンクール弦楽・ピアノ部門において優秀演奏者賞(最高位)受賞。2001年同大学院修士課程器楽科室内楽専攻(ヴィオラとピアノの二重奏)修了。2002年NHKのハイビジョンクラシック倶楽部に出演し齋藤和志(fl)、早川りさこ(Hp)と共演。2003年ベルリンフィルハーモニー管弦楽団の定期にエキストラ出演。これまでにヴァイオリンを鷺見健彰、大槻洋子、大熊衛生、天満敦子の各氏に、ヴィオラを中塚良昭氏、土屋邦雄の各氏に師事。ヴィオラとピアノの二重奏を松原勝也氏に、室内楽を岡山潔、澤和樹、苅田雅治、坪田昭三、渡邊健二の各氏に師事。現在オーケストラのほか「アペルト弦楽四重奏団」、高橋希とN響メンバーによる「クインテット・ディ・ピアノフォルテ・ラ・スペランツァ」、室内オーケストラ「ARCUS(アルクス)」のメンバーとしてソロ、室内楽の分野でも日本各地で活発にコンサート活動を行っている。

●野田清隆 (P) Noda Kiyotaka JBS会員

1971年横浜市出身。12歳でピアノを始める。東京藝術大学、大学院修士課程を経て、博士後期課程修了。第64回日本音楽コンクール第1位、井口賞、河合賞、野村賞。ソリストとして秋山和慶、尾高忠明、沼尻竜典をはじめとする指揮者や、東京交響楽団、神奈川フィルなどと共演するほか、室内楽でも漆原朝子や小林美恵、D.シュヴァルケ(ベルリン・フィル)、山崎伸子、河野文昭、立花千春、四戸世紀、A.コスター(北ドイツ放送響)、高橋 敦といった内外の演奏家と共演を重ねている。また現代作曲家の新作初演や、自らのプロデュースにより「20世紀音楽で綴る《夜》」コンサートを行った。ブラームスと20世紀作品を組み合わせた一連のリサイタルにより博士号を取得。アフィニス夏の音楽祭、ゆふいん音楽祭に参加。浜口奈々、K.シルデ、植田克己の各氏に師事。東京藝術大学ピアノ科非常勤講師ならびに東京音楽大学指揮科助手。

●林峰男 (Vc) Hayashi Mineo JBS音楽監督

東京芸大付属高校、桐朋学園を経て、ジュネーブ音楽院を首席で卒業。斎藤秀雄氏に師事する。ベルリン国際コンクールで1位。ロザンヌを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。この間モントル音楽院、ロザンヌ音楽院の教授を歴任。1995年のデビュー20周年演奏会をザルツブルグで4日間連続開催し、P園田高弘氏と共演するなど高く評価された。また昨年2005年デビュー30周年演奏会はVn加藤知子、P伊藤恵と「シスター・グイ没後30周年記念演奏会」を各地で開催しNHK-BSで放映される。日本ブラームス協会では音楽監督として1995~2003年「室内楽シリーズ」で若手育成のため積極的に共演し、1997年ブラームス没後100周年記念を東京文化会館で、1998年協会25周年を津田ホールで、2003年の協会30周年では大阪フェニックスホール、東京第一生命ホールと初の東西公演にも貢献する。現在国際スウェーデン音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

●西原稔 (お話し) Nishihara Minoru JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽之友社)、「ブラームス」(音楽之友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史を研究、その研究成果は出版が予定されている。日本ブラームス協会顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その研究成果を年会誌「赤いはりねずみ」に発表している。

日本ブラームス協会 ヤマハ銀座店共催シリーズ

『弘中孝/ブラームスとシューマンを語る』 《シューマン生誕200年記念》

2010.5.23(日) ヤマハ銀座店(7丁目 2/26グランドオープン 新ビル内 サロン)

企画・制作

日本ブラームス協会(顧問/西原、会長/羽木、幹事/佐藤、重成、杉田、山田)